

9月7日（火）15時45分～20時 ICM（統合的沿岸域管理）と里海 ①

	氏名	所属	発表タイトル(仮訳)
1	柳 哲雄	九州大学名誉教授 国際エメックスセンター科学・政策委員	日本の里海における関係性の価値
2	Anukul Buranapratheprat	タイ・ブラパ大学	タイにおける里海
3	松田 治	広島大学名誉教授 国際エメックスセンター副理事長	EcoDRR（生態系を活用した防災・減災）とICM（統合的沿岸域管理）を両立させる里海の可能性
4	日高 健	近畿大学教授	里海管理におけるステークホルダーとのつながり：明石市におけるタコ漁のルール作りのケーススタディ
5	Kevin Scribner	米国・サーモン・セーフ	サーモン・セーフ：山から海へ、人とサーモンの関係
6	古川 恵太	NPO法人 海辺づくり研究会理事 国際エメックスセンター科学・政策委員	ICM（統合的沿岸域管理）のスケールアップ：東京湾再生のための官民連携の枠組みを探る
7	William Dennison	米国・メリーランド大学環境科学センター	持続可能性と変革のための沿岸海洋評価（COAST Card）
8	Richard Arnold	米国・メリーランド大学環境科学センター	チェサピーク湾：回復力と復元のケーススタディ
9	Aklilu Tilahun Tadesse	ノルウェー・ベルゲン大学	チェサピーク湾のためのシステムダイナミクスに基づくモデリング：ポトマック川流域の事例
10	Vanessa Vargas-Nguyen	米国・メリーランド大学環境科学センター	持続可能性と変革のための沿岸海洋評価（COAST Card）フレームワークにおけるソーシャルネットワーク分析の活用
11	Simon Costanzo	米国・メリーランド大学環境科学センター	持続可能性と変革のための沿岸海洋評価（COAST Card）フレームワークにおける社会環境報告カードの活用
12	灘岡 和夫	東京工業大学名誉教授	包括的なステークホルダー・パートナーシップによる石垣島・石西礁湖の回復力のある持続可能な社会生態系の構築に向けて
13	Rhodora Azanza	フィリピン・国立科学技術アカデミー	マニラ湾：沿岸の変化と持続可能な開発への挑戦

9月8日（火）15時45分～16時45分 ICM（統合的沿岸域管理）と里海 ②

1	行木 美弥	環境省・閉鎖性海域対策室長	瀬戸内海の水質管理と生物生産性の両立に向けた日本の活動を振り返る
2	Xiang Gao（高 翔）	笹川平和財団海洋政策研究所研究員	中国の海洋生態系レッドライン政策についての一考察
3	Jing Zhang（張 勁）	富山大学教授 国際エメックスセンター科学・政策委員	マニラ湾：沿岸の変化と持続可能な開発への挑戦

ポスター発表（会場にて掲示予定）

1	兵庫県	農政環境部環境管理局水大気課	豊かで美しい瀬戸内海の再生に向けて～兵庫県の戦略～
---	-----	----------------	---------------------------

9月8日（水）15時45分～19時15分 海洋プラスチック

	氏名	所属	発表タイトル(仮訳)
1	磯辺 篤彦	九州大学教授	海洋浮揚性マイクロプラスチックのモニタリングとモデリング
2	Yanfang L	中国科学院煙台海岸帯研究所	北部黄海のシンリ湾におけるマイクロプラスチック汚染の季節的変化
3	Boyu Wang	廈門大学	中国における海洋プラスチックガバナンスの政策選択肢に対する汚染源の影響：アモイのケーススタディ
4	佐川 奈緒	愛媛大学大学院	海浜でのマイクロプラスチックの動態確率的モデル：広島湾への適用
5	Kevin Thomas	オーストラリア・クイーンズランド大学	小さなプラスチック：海だけの問題なのか、それともどこにでもある環境汚染物質なのか？
6	田中 周平	京都大学准教授	タイ南部サムイ島のサンゴ礁周辺におけるマイクロプラスチックの汚染について
7	Sonja Ehlers	ドイツ連邦水文研究所	ヨーロッパの岩場の潮間帯生息地におけるマイクロプラスチックの主な発生源は塗料である
8	Jaime Johnson	南アフリカ・ウェスタンケープ大学	南アフリカ、東ケープ地方のマングローブが生い茂る河口におけるマイクロプラスチック汚染のプロファイリング
9	Diana Rodrigue	ポルトガル・NOVAリスボン大学海洋環境科学センター	ボーク（鯛の一種）から検出されたマイクロプラスチックは、その沿岸の餌場で入手可能なものを反映しているか？
10	Robert Summers	米国・メリーランド大学環境科学センター	沿岸域からのプラスチックの制御 - 米国水質浄化法に基づく規制の利点

ポスター発表（会場での配信・掲示予定はございません）

1	Rafaela P. Mendes	ポルトガル・ポルト大学	ポルトガル北西部沿岸で失われた漁具の環境への影響 - NetTagプロジェクト
2	Sota MIYAKE	香川大学	2019年5月～10月の香川県高松市の河川・河口域におけるマイクロプラスチックの特徴
3	Filipa Bessa	ポルトガル・コインブラ大学	プロジェクト UAS4LITTER - ドローンを使って砂浜の海ゴミをマッピングする

9月9日（木）15時45分～17時45分 青少年環境教育交流セッション

	所属学校名・学年	発表タイトル
1	立命館守山高校 2年生	大阪湾上流からの視点：琵琶湖のマイクロプラスチック
2	広島県立広島国泰寺高校 2年生	海におけるマイクロプラスチック汚染指標の作成
3	兵庫県立尼崎小田高校 3年生	緑のマイクロプラスチックの謎を解明する
4	山陽学園高校 2年生	瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決に向けての取り組み ～海洋ごみ問題を「自分事」化する実践～
5	兵庫県立神戸商業高校 2年生	瀬戸内海から流出する海洋プラスチックごみ
6	清風高校 2年生	底泥へドロの除去とその活用方法

※発表順は変わる場合があります。